

山形大学人文社会科学部・法学会共催
学術講演会

働き方改革と 労働法・働き方の未来

講師: 荒木尚志先生(東京大学教授)

日時: 11月2日(木) 16:20~17:50

場所: 人文社会科学部 1号館 3階 301教室

(参加無料・事前申込み不要)

民間企業でも公務員の世界でも「働き方改革」が進行中である。終身雇用といわれた伝統的な日本の雇用システムの下で、長時間労働、男女差別、正規・非正規労働者の格差など、様々な問題が生じ、また、情報技術革新、AIの登場によって働き方も大きく変化している。労働法はこれらの問題にどう対処しようとしているのか、そして、未来の働き方はどのような姿になるのか。諸外国との比較も交えて考えたい。



【講師紹介】 荒木尚志(あらかし・たかし)先生:

東京大学大学院法学政治学研究科教授。専門は労働法。

主な著書に、『労働法(第5版)』(有斐閣, 2022年), 『労働時間の法的構造』(有斐閣, 1991年), 『雇用システムと労働条件変更法理』(有斐閣, 2001年), 『詳説 労働契約法[第2版]』(共著, 弘文堂, 2014年), 『解雇ルールと紛争解決——10カ国の国際比較』(共編著, 労働政策研究・研修機構, 2017年)等多数。

2017年より労働政策審議会労働条件分科会会長。

問い合わせ先: 人文社会科学部教務担当(yu-kmkyom-jin@jm.kj.yamagata-u.ac.jp / 023-628-4709)
日原研究室(yhihara@human.kj.yamagata-u.ac.jp)